

## 第165回 仏教公開講座

年間テーマ

# 生きるって ということ

サブテーマ (教区テーマ)

まなこ  
『眼をひらく』  
こころ  
『心をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2018年3月20日(火) 午後6時半より

講 師 高木 慶子(たかき よしこ)氏 (上智大学グリーフケア研究所特任所長)

講 題 眼をひらく、心をひらく

### 講師紹介

熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。

現在、上智大学グリーフケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「兵庫・生と死を考える会」会長。一般社団法人グリーフケアパートナー理事。援助修道会会員。「日本スピリチュアルケア学会」理事長。

兵庫県「県勢高揚功労」(2015年度)、「カトリック大学連盟 カトリック学術研究奨励賞」受賞、「神戸新聞 第63回平和賞」受賞、「財団法人兵庫地域政策研究所機構 第7回21世紀のまちづくり・研究部門賞」受賞、など。

三十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーフケアに携わる。

著 書 『「ありがとう」といって、死のう』(幻冬舎)  
『それでも 人は生かされている』(PHP 研究所)  
『悲しみの乗り越え方』(角川書店)

### 先生からのメッセージ

各自の心の中に、神仏が宿っておられることを、これまでの尊い先人たちが教え諭しておられます。その尊い神仏に、心の眼を向けて生活を送ることは、人生を豊かに生きるために最も大切な行いではないでしょうか。私たちは身体的な五感を持っているだけでなく、心の中の五感も持っていると考えます。その内的な感性で、神仏に眼を向けることで、人生の奥行きも違ってくるのではないのでしょうか。

いつでも・どこからでも聞ける「テレホン法話」、お電話ください。TEL058-265-0033

# MEMO

## 次回 第166回 仏教公開講座 ご案内

期 日 2018年4月20日（金）午後6時半より

講 師 ケネス田中（けねす たなか）氏 （武蔵野大学名誉教授）

講 題 親鸞聖人の人間らしさ － 今日社会が求める生き方

講師紹介 1947年山口県生まれ。シリコンバレー育ち。米国国籍。スタンフォード大学（文化人類学 学士）。東京大学（インド哲学 修士）。カリフォルニア大学（仏教学 哲学博士）。武蔵野大学名誉教授。国際真宗学会前会長。日本仏教心理学会前会長、2017年度、第27回中村元東方学術賞受賞者。NHK テレビ番組「こころの時代」主演（2018年4月8日）

著 書 『真宗入門』（法蔵館）

『アメリカ流 マインドを変える仏教入門』（春秋社）

『智慧の潮 － 親鸞の智慧・主体性・社会性』（武蔵野大学出版会）

『仏教と気づき』（武蔵野大学出版会）

メッセージ 私が親鸞に惹かれたのは高校時代であった。特に「かなしきかな愚禿鸞、愛欲の広海に沈没し、名利の太山に迷惑して、。。。。」という「『教行信証』の言葉は衝撃的であった。我々一般人または在家者にとっては、自らを「愚」や「凡夫」と評価していた親鸞には親近感が感じられる。本講座ではこの「人間らしさ」の魅力をより明らかにし、昔、タイ国で私が体験した出家者の仏教とも比較する。